

2019年  
10月15日

NO 28

# 全国OB会ニュース

日本貨物鉄道労働組合  
全国OB会

発行人 藤原博之

## 2019年度 JR 総連 OB 連絡会拡大幹事会報告

JR 総連 OB 連絡会は、10月4日（金）に2019年度拡大幹事会を目黒さつきビルで行いました。貨物労組からは、JR 総連 OB 連絡会の藤原副会長・中村幹事と各単組代表として、伊藤事務局長・迫幹事及び OB 担当者として佐々木教宣部長（幹事）が参加しました。

拡大幹事会は藤原副会長の開会・座長ではじまり、奥山会長は、今年も各地で大きな傷跡を残した災害が発生している。地球の温暖化など「未来の世代に何を残すのか」を訴えました。引き続いて、財政的な観点から問題提起があり、今後の OB 連絡会をどのようにしていくのか。具体的には、各単組・各地域の活動の継続と退職者連合活動への積極的なかわりを訴えました。

JR 総連からは、榎本委員長があいさつを行い、まずは東労組の内部の問題にふれて、「本部方針を守らない」人たちは、別の考え方で進んでおり対立が顕在化していること。消費税が10%となったが、企業が安倍政権を支えている根拠に、消費税3%導入以降、法人税の減税を42%～23.2%迄、実に18.8%まで下げており、消費税が327兆円に対して、減収も271兆円に達していることを明らかにして挨拶されました。

議事に入り、植松事務長より（1）一年間の経過報告（2）来年度以降の拡大幹事会に対する考え方について ①拡大幹事会を日帰り開催とする ②幹事会を年二回とする（泊の幹事会はしない） ③各単組総会のあいさつ派遣はしない（メッセージとする）（3）その他として、①核兵器廃絶1000万署名について（2020年2月10日迄） ②都道府県退職者連合への加盟状況調査のお願い、以上が提起されました。

闘いの報告は、東労組の闘いの現段階として、東労組本部・佐藤英樹中執から行われ、続いて、各単組 OB 会の闘いの報告となり、貨物労組からは迫幹事より、第22回定期総会を中心に報告し、トンネル問題などへの支援を要請しました。

役員については全員が留年となり、貨物労組からは引き続いて、副会長に藤原会長・幹事に中村副会長が選出されました。

### 2019年度新役員

会長 奥山光昭 JR 東労組      幹事 福島一三 JR 東海労      副会長 藤原博之  
JR 貨物労組      幹事 末岡 譲 JR 西労  
事務長 植松 健 JR 東労組      幹事 中村靖治 JR 貨物労組  
幹事 武川隆二 JR 北海道労組